



自己防犯診断チェック表 アパート・マンション 編

問1

敷地境界には見通しのよいフェンスが設置してある。

- YES
 NO

問2

センサーライト、門灯、玄関灯などで夜間の照明配慮がされている。

- YES
 NO

問3

エントランス、エレベーター内に防犯カメラが設置されている。

- YES
 NO

問4

玄関ドアは、サムターンカバーなどの防犯機器を取り付けている。

- YES
 NO

問5

玄関ドアは、防犯性能の高いCP建物部品である。

- YES
 NO

問6

窓ガラスには、防犯(CP)ガラス又は防犯(CP)フィルムを使用している。

- YES
 NO

問7

窓には補助錠や面格子(CP)がついている。

- YES
 NO

問8

(共同入口が)オートロックでも、ドアは必ず施錠している。

- YES
 NO

問9

長期間留守にする場合は、新聞の配達を止めるなどの配慮をしている。

- YES
 NO

問10

見かけない人を近所で見ただけ時には、挨拶や会釈をするようにしている。

- YES
 NO

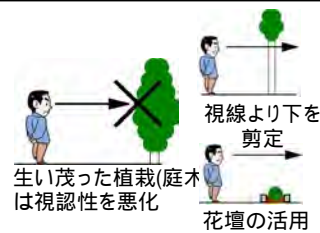


自己防犯診断チェック表【解説】 アパート・マンション 編

問1

YES

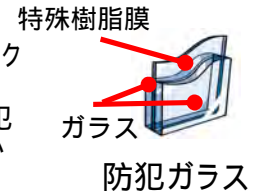
ドロボウは、人に見られることを最も嫌います。敷地内の公園や広場が、周囲から見えにくいというケースがあります。植木や塀で子供が使用する遊具やトイレが見えにくくなっていませんか。



問6

YES

侵入か所でも多いのが、「窓」です。ガラスを割ってクレセント錠を開けられるという手口で侵入されています。窓ガラスの対策には、防犯ガラスへの交換や防犯フィルムへの貼付があります。ドロボウが嫌う「時間をかけさせ、侵入をあきらめさせる」対策が効果的です。



問2

YES

敷地、エントランス、共用廊下が暗かったり、外部からの見通しが悪かったりすると、犯罪が起こりやすくなります。照明を明るくしたり、門灯やセンサーライトなどを活用し共用部分や玄関を明るくしましょう。



センサーライト

問7

YES

警察庁、国土交通省、経済産業省、建物部品団体が構成する官民合同会議で、ドロボウの手口を分析して、侵入工用具を使い防犯性能試験を行い、合格した建物部品を「CP建物部品」として、CPマークを付して推奨しています。自己保有物件でなければ、CP建物部品への取替えを大家さん・管理者と相談してみましょう。



「CPマーク」

問3

YES

エレベーター内は万が一に備えて、非常通報装置、防犯カメラなどの防犯設備を設置しましょう。また、各階のエレベーターホールにもエントランスと同様に、十分な明るさが確保されていることが重要です。



問8

YES

2階へ通じる配管や樋も、ドロボウにとっては、格好の足場となってしまいます。配管、樋の位置を考えたり、有刺鉄線を巻き付けるなどの対策をとりましょう。



問4

YES

アパート・マンションなどでは、サムターン回しによる被害が多発しています。サムターン回し対策は、サムターンカバーなどの取り付けが効果的です。



サムターンカバー

問9

YES

昼間、留守を狙う「空き巣」が多発しています。長時間(期間)、留守にする場合は、あらかじめ室内灯をつけておいたり、新聞の配達を一時止めるなど、留守を悟られない対策が効果的です。

問5

YES

ドア、錠を防犯性能の高い「CP建物部品」に取り替えて、サムターン回しなどの不正開錠被害を防ぎましょう。警察庁ホームページ(住まいる防犯110番)で「CP建物部品」を紹介しています。



警察庁ホームページ

問10

YES

ドロボウは、「地域の目」を嫌います。普段見かけない人には、「どちらかお探しですか。」と声を掛けたり、あいさつや会釈するなどして意識をすると、地域で防犯に気を付けていることのアピールになり、ドロボウに犯行をあきらめさせることができます。

